

もりまち通信

第23号



春号の主な内容

2～3ページ： 視覚障害リハビリテーション指導員のお仕事
職員紹介： 保育士 米田 浩美 言語聴覚士 下口 優

表紙の写真は「第8回長崎市障害者アート作品展」に出展した
さくらんぼ園の子どもたちの作品です（左からぱんだ組、うさ
ぎ組、ぞう組、きりん組）。ぱんだ組は佳作をいただきました！

平成最後の『もりまち通信』に思いを寄せて

診療所長 松崎淳子

平成最後の・・・のフレーズをよく耳にするようになりましたが、この『もりまち通信』も平成最後の号となります。
この機会にハートセンターでの小児発達症診療を振り返ってみようと思います。

私がセンターに赴任したのは平成16年。早15年の年月が経ちましたが、この間、発達症診療に関して大きな変化が見られました。平成17年の発達障害支援法施行に伴い関連する法律が整備され療育や支援体制の拡充や整備が進みました。医療現場では多動、集中力改善に効果のある治療薬などが次々に開発されました。療育の分野も新たな内容や手法が取り入れられてきました。全国的に発達症の認知が広がり、当診療所でも相談件数、診療、療育数は年々増加し、現在、年間診療数は15年前に比し約5倍となりました。小さいお子さんだけでなく薬物治療の学童期のお子さんたちも大勢来られています。

赴任当時、発達症診療経験の浅かった私はこの15年の中で出会えたお子さん、ご家族から多くの事を教えてもらいました。一人のお子さんの成長と長く関わらせていただくことは貴重な経験、学びとなり診療の糧となっています。カルテには発達の所見や診断名、今後の方針の記載だけでなく、成長記録、いろいろな出来事、お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、そして先生方や周囲の方々などのその時々のおいの記録がぎっしり詰まっており私にとって宝物です。

新しい時代はどんな世界となっていくのでしょうか。テクノロジーが進み社会はもっと便利に暮らしやすくなるのでしょうか。ダイバーシティ化の推進が謳われ今まで以上に多様性を認め生かすことができる時代がやってくるのでしょうか。

平成生まれのハートセンター。次の時代、センターそして診療所は人と人の繋がり、相手を理解しようとする気持ち、子どもの成長を願う親の思い、時代が変わることですます重みが増してくるものを大切に進んでいけたらと思います。

視覚障害リハビリテーション指導員のお仕事

長崎市障害福祉センターでは、目に障害のある方に対して相談対応や訓練等を行っている職員のことを視覚障害リハビリテーション指導員と呼んでいます。
今回は、その視覚障害リハビリテーション指導員について紹介します。

視覚障害リハビリテーション指導員（視覚障害生活訓練指導員）とは

目の見えない人や見えにくい人が白杖を使うなどして安全に歩行できるように指導・支援する専門職の通称。その他に点字を使ったコミュニケーションや、調理・掃除・食事など日常生活に必要な動作・技能などの指導も行います。



業務内容

●相談

○見えない・見えにくいことによる相談であれば、どんなことでもご相談ください。

○ご自宅や病院、施設などへの訪問も対応しています。

○白杖の申請に関する相談は、白杖の長さやタイプの選定、申請手続き支援、申請後白杖が届いてからの白杖の使い方の指導なども行っています。

○拡大読書器や音声腕時計など日常生活用具の申請に関しても、申請手続き支援、申請後の器具の使い方指導も行います。



●点字グループ訓練

グループでの点字の訓練を週に1回ハートセンターにて行っています。
利用者一人一人のペースに合わせて指導しています。



●機能訓練（障害福祉サービス事業）

○歩行訓練

週に一度、ご自宅へ訪問し自宅周辺での歩行訓練、またはハートセンター内での訓練、どちらでも対応できます。

○基礎的な歩行技術と屋内・屋外の安全な移動

○ハートセンター館内の単独移動

○ご自宅周辺や、目的地までの歩行

○交通機関の利用訓練

…等を行っています。



●茶話会

○ハートセンターを利用している視覚障害者同士の出合いの場、交流の場として月に1回会を実施しています。

○見えない・見えにくいことで抱えている悩みや困っていること、日常生活の中で工夫していることなどを語り合い、また、視覚障害者の方に役立つ情報の提供を目的として会を実施しています。



ご相談のある方は長崎市障害福祉センターまでお問い合わせください。

TEL:095-842-2525 FAX:095-842-2568

担当：相談支援係

手話講座

卒業



賞状を持った両手を軽く上にあげながら頭を下げる

入学



①両手を並べて、軽く2回前を出す。



②両手人差指で「入」の字形を作り、倒すように前を出す

職◆員◆紹◆介

① **仕事の内容?**： 児童発達支援センターさくらんぼ園で保育士をしています。発達の気になる就学前までのお子さんが自分で身の回りのことができるように。また、たくさん楽しい遊びができるようにスタッフと協力しながら療育を行っています。

② **趣味・特技**：

自由な時間に一人で食べ歩きです♪

③ **今おすすめなこと**：

ちょっとのんびりしたい人には、私も実践していますか動物園や植物園にでかけるのがおすすめです。癒されますよ♪



保育士
米田 浩美

① **仕事の内容?**：

相手のことばを理解する力や、自分の考えを表現する力、状況を判断しお友達の気持ちを考える力などを伸ばし、集団生活においてお子様がより豊かな生活を送れるよう、支援を行っています。訓練を通して、お子様がことばに触れる楽しさを覚え、自信に繋

がるよう一人一人の興味・発達段階に合わせた訓練内容をプログラムしています。

② **趣味・特技**：

家族と夕食会！家族大好き家族で週末はいつも集まっています♪

③ **今おすすめなこと**：

天体観測アプリを使って星空観察★1年を通しておすすめです♪



言語聴覚士
下口 優

【スポーツレクリエーション等】

行事名	日にち	場所
水泳記録会	5月23日(木) 10:00~12:00	プール
ボッチャ大会	7月3日(水) 10:00~12:00	体育室

【趣味・文化・運動講座】

講座名	日にち	場所
小原流生け花講座	5月28日 6月25日 他4回 (いずれも火曜日) 14:00~15:00	社会適応 訓練室
大人のぬり絵講座	6月7日、21日 他3回 (いずれも金曜日) 13:30~15:00	社会適応 訓練室
笑いヨガ講座	6月28日(金) 13:30~15:00	軽スポーツ 室

詳細については、電光掲示板をご覧ください。

☆おやこ広場へのお誘い☆

小さく生まれたお子さんや発達に不安を抱えているご両親の交流の場があります。おやこ遊びや専門スタッフによる体験型ミニ教室を企画していますので気軽に遊びにきてください。

対象：2歳くらいまでのお子さんとその保護者の方

日程：5月~12月までの毎月第1水曜日

※5月のみ第2水曜日

時間：AM10:30~11:30

場所：もりまちハートセンター4階 作業療法室①

内容：未定

※ 年度途中からの参加や1回のみ参加も大歓迎です。ご希望の方はハートセンター職員にご相談ください。

担当：相談支援係
(療育担当)



♪寄贈いただきましてありがとうございます♪

片倉工業㈱ オストメイト対応前広便座「e-anza」平成31年2月21日一般社団法人バリアフリー推進協会様より長崎市へ寄贈いただき、平成31年2月24日もりまちハートセンター1Fロビー身障者用トイレへ設置させていただきました。



大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

【休館日】

毎月第4日曜日 4/28、5/26、6/23

編集後記：新年度が始まりました。5月には年号が変わります。2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて心機一転がんばっていきましょう。

発行：社会福祉法人 長崎市社会福祉事業団 広報委員会
住所：〒852-8104 長崎市茂里町2-41
TEL：095-842-2525 FAX：095-842-2568
ホームページURL：<http://www.nc-swc.or.jp>